

2027年3月期
第2四半期

決算補足説明資料

11月9日

anicom
アニコム ホールディングス株式会社

証券コード：8715

全 体 目 次

1 第2四半期 決算概要

2 重点施策の進捗状況

3 APPENDIX

1　第2四半期 決算概要

1. 全体サマリー（経常収益・経常利益）
2. 損益計算書　サマリー
3. 経常費用・利益のパラメータ
4. 経常利益の増減要因（対前年同期差分析）
5. 貸借対照表　サマリー



1. 全体サマリー（経常収益・経常利益）

経常収益	**40,892 百万円** 前年同期比12.3%増（4,491百万円増） 計画は41,000百万円 0.3%減 うち、保険引受収益は前年同期比6.1%増（1,940百万円増）
のれん償却前経常利益	**4,323 百万円** 前年同期比94.1%増（2,096百万円増）
経常利益	**4,194 百万円** 前年同期比99.9%増（2,096百万円増） 計画は4,000百万円 4.9%増

安定した新規契約獲得と周辺事業の拡大、資産運用収益の増加等により増収増益
経常収益・経常利益共に第2四半期として過去最高

■ 経常収益

- ペット保険の新規契約件数は12.1万件、同保有契約件数は143.3万件（6.4%増）と**引き続き伸長**
- 保険事業以外の、その他経常収益は4,706百万円（15.8%増）と**順調に拡大**
- 資産運用収益は2,571百万円（287.7%増）となり、**計画通りに推移**（詳細はP13を参照）

■ 経常利益

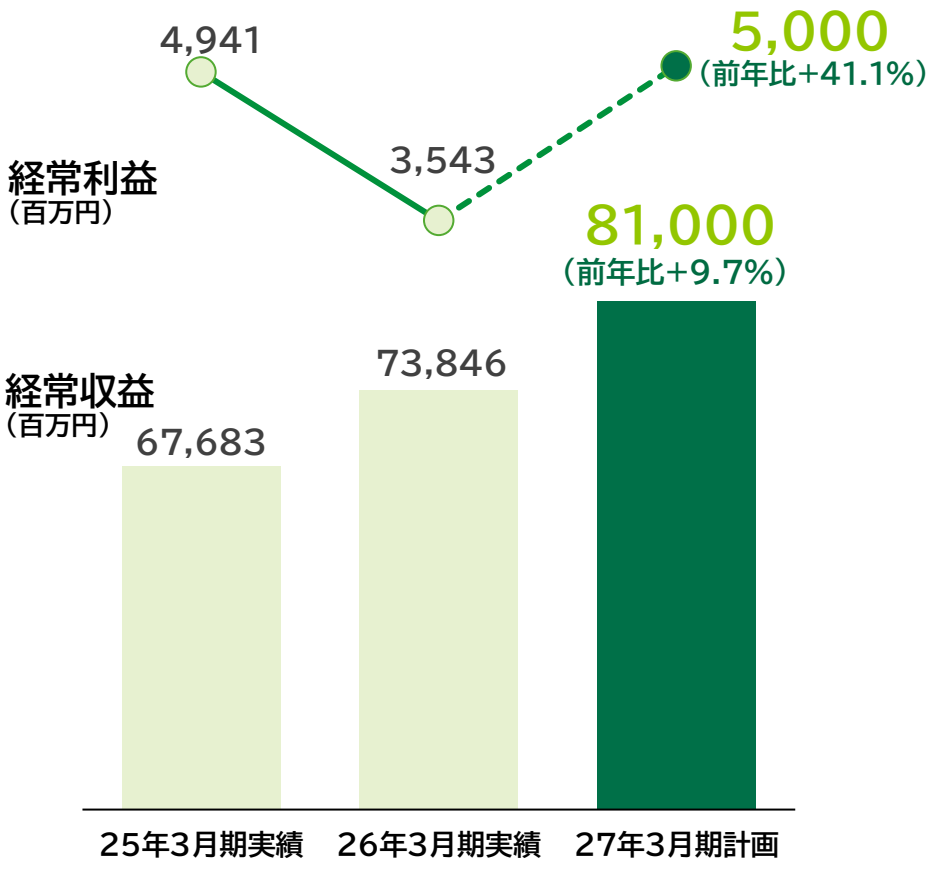
- アクサダイレクト契約移管コストの剥落や、資産運用収益増加により、**大幅増益、半期計画を達成**

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

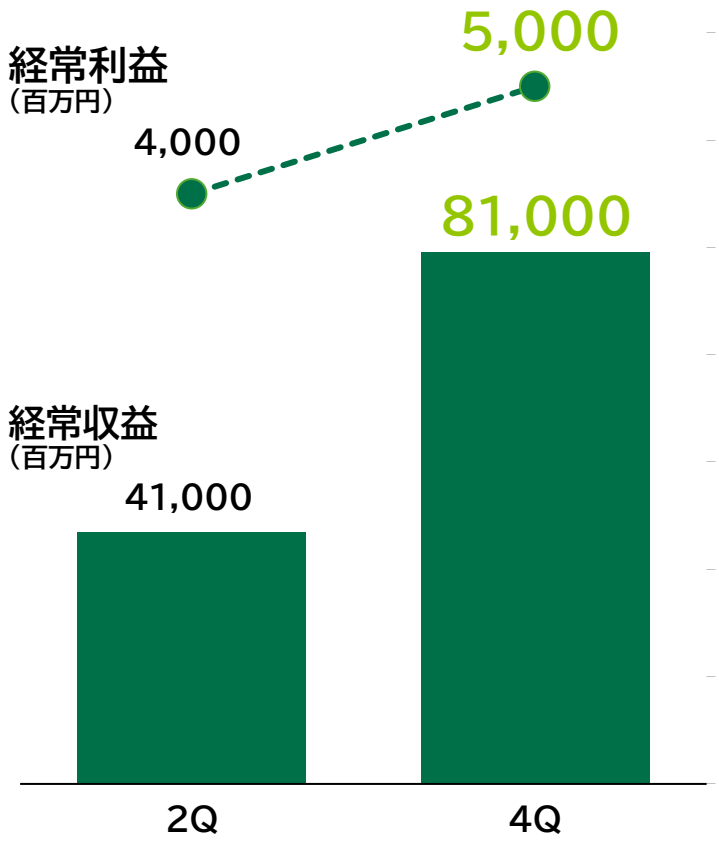
1. 全体サマリー(経常収益・経常利益)

(参考)2027年3月期 損益計画 (年間・半期累計)

年間計画



半期累計計画



Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

1. 全体サマリー(経常収益・経常利益)

(参考)保険料改定の概要および損益影響見込み

当期(2027年3月期)への影響はなく、2028年3月期以降の増収・損害率改善効果が保険引受損益を押し上げ

①保険料改定の概要 (詳細については、2026年11月9日付ニュースリリースを参照 https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2026/20261109/)

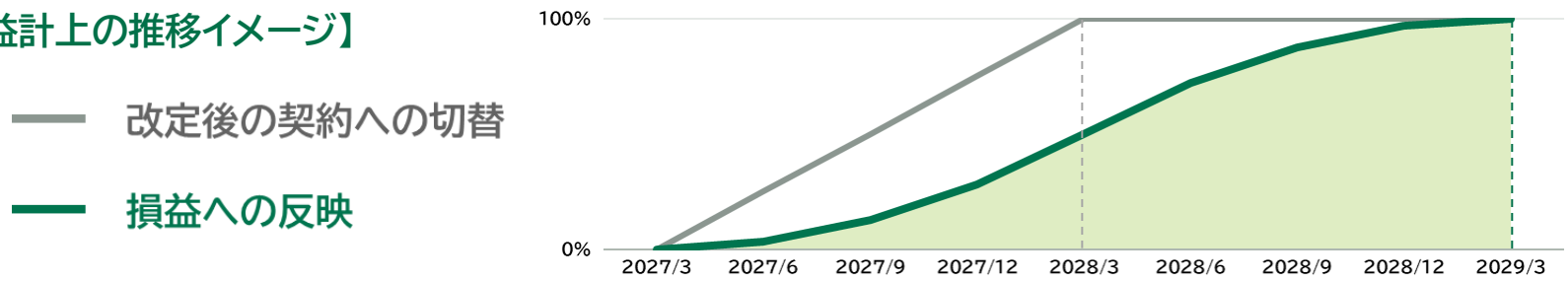
対象商品　：どうぶつ健保ふぁみりぃ 入通院の限度日数有りタイプ(スタンダード)
適用開始予定：2027年4月始期契約から
改定水準　：保険商品全体で**平均6.3%の引き上げ**

②保険料改定の影響

保険料は未経過期間分を普通責任準備金(未経過保険料)として繰り越すため、改定実施年度と損益計上時期にずれが生じます (詳細はP26参照)

2027年3月期	2028年3月期(見込)	2029年3月期(見込)
影響なし	E/I損害率　約1.0～1.5pt改善※	E/I損害率　約3.0～3.5pt改善※

【契約切替および損益計上の推移イメージ】



※E/I損害率は、現時点におけるアニコム損保単体の試算であり、今後変更となる可能性があります

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

2. 損益計算書 サマリー

（百万円）

	26年3月期 2Q	27年3月期 2Q	対前年同期比 増減率
経常収益	**36,400**	**40,892**	**12.3** %
保険引受収益	31,674	33,614	6.1 %
資産運用収益	663	2,571	287.7 %
その他経常収益	4,063	4,706	15.8 %
経常費用	**34,301**	**36,697**	**7.0** %
保険引受費用	22,291	24,341	9.2 %
・正味支払保険金	(18,392)	(20,377)	10.8 %
・損害調査費	(583)	(715)	22.7 %
・諸手数料及び集金費	(2,845)	(3,071)	7.9 %
・支払備金繰入額	(221)	(326)	47.8 %
・責任準備金繰入額	(249)	(△ 149)	― %
（うち未経過保険料）	(1,123)	(830)	△26.1 %
（うち異常危険準備金）	(△ 874)	(△ 980)	― %
資産運用費用	0	382	― %
営業費及び一般管理費	10,449	10,333	△ 1.1 %
その他経常費用	1,560	1,640	5.1 %
のれん償却前経常利益	**2,227**	**4,323**	**94.1** %
経常利益	**2,098**	**4,194**	**99.9** %
純利益	**1,429**	**2,920**	**104.3** %

※保険業法施行規則に定められた財務諸表の様式において、責任準備金繰入額がマイナスとなった場合、連結経常収益の中に責任準備金戻入額として表記しなければならないところ、本補足説明資料においては、過去との比較参照性の観点から保険引受費用の内訳として表記しています。
よって、決算短信にて開示している連結経常収益41,041百万円と149百万円の差額が生じています。なお、連結経常利益に影響を与えるものではありません。

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

2. 損益計算書 サマリー

（参考）アニコム損保 保険重要指標

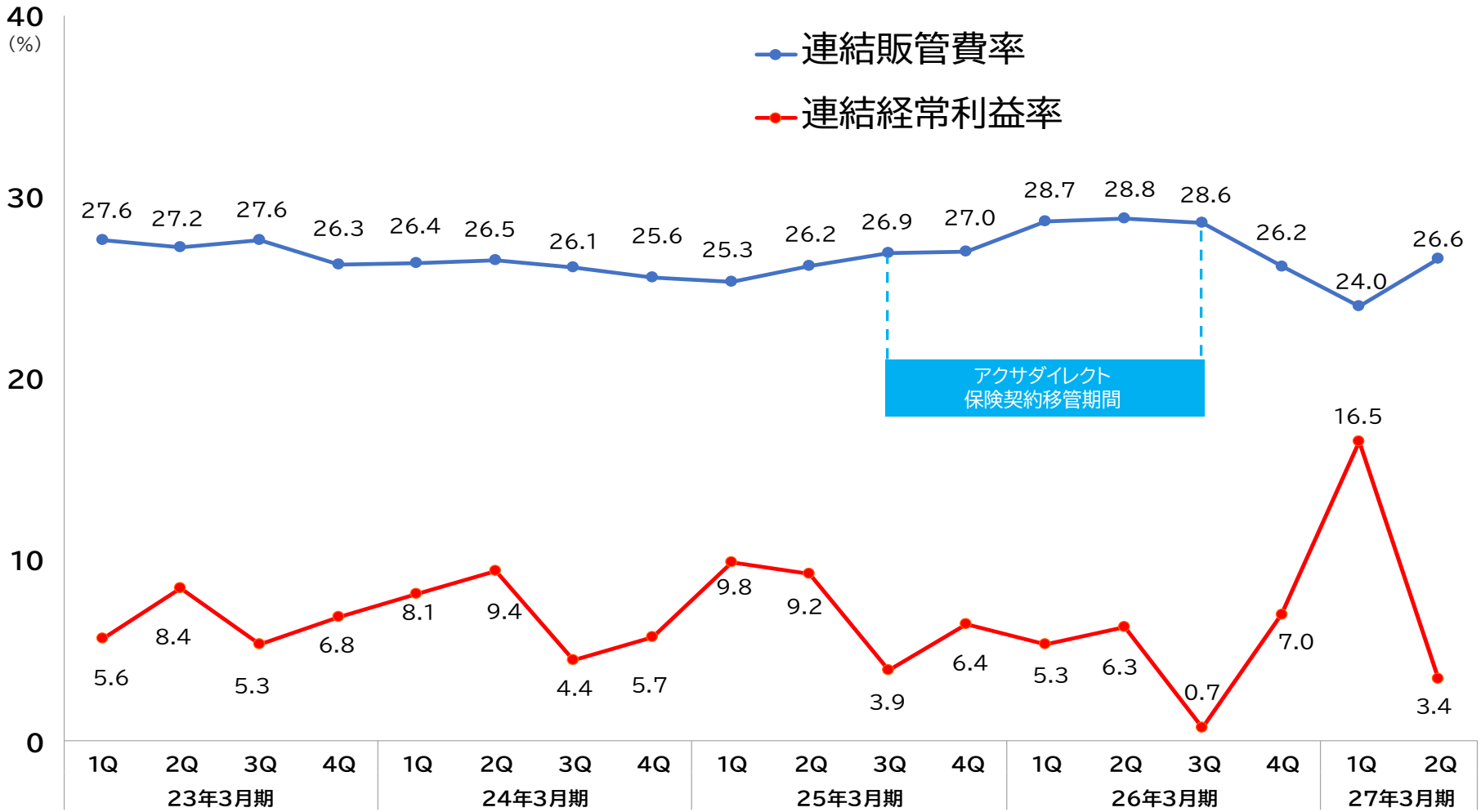
（百万円）

	26年3月期 2Q	27年3月期 2Q	対前年同期比 増減率
既経過保険料	30,683	32,908	7.3%
発生保険金（損害調査費含む）	19,196	21,419	11.6%
E/I損害率①	62.6%	65.1%	2.5pt
既経過保険料ベース事業費率②	34.6%	30.3%	△4.3pt
（内、諸手数料及び集金費率）	(9.8%)	(9.8%)	(0.0pt)
コンバインド・レシオ（既経過保険料ベース）①+②	97.2%	95.4%	△1.8pt

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

3. 経常費用・利益のパラメータ ※販管費率、経常利益率（連結）

※ アニコム損保単体の経営パラメータ（損害率・事業費率・契約件数）はAPPENDIX参照

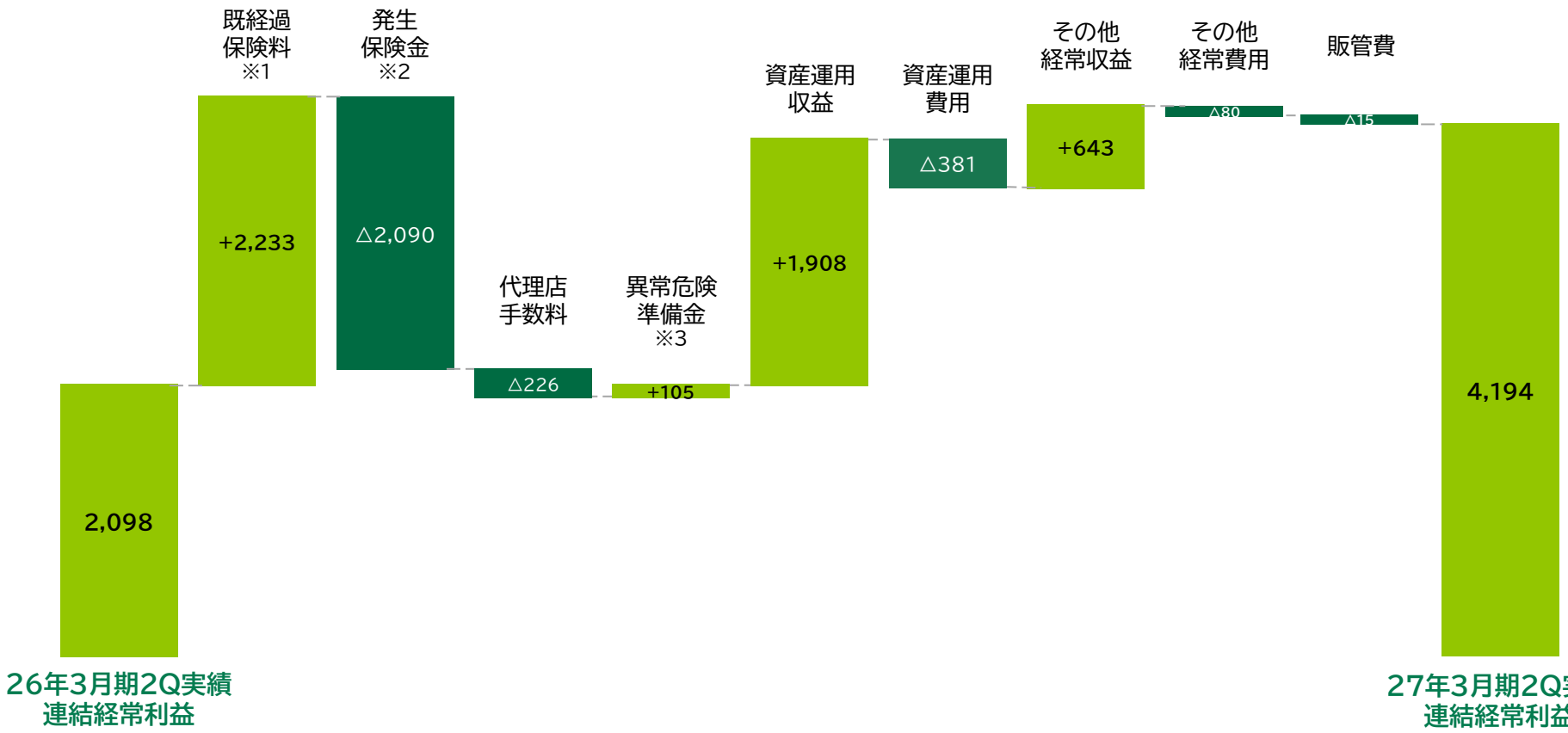


Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

4. 経常利益の増減要因(対前年同期差分析)

※1 既経過保険料＝保険引受収益－普通責任準備金繰入額(未経過保険料)
※2 発生保険金＝正味支払保険金＋支払備金繰入額
※3 異常危険準備金＝異常危険準備金繰入額＋異常危険準備金戻入額

(百万円)



Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

5. 貸借対照表 サマリー

（百万円）

	26年3月期末	27年3月期 2Q	対前期末比 増減率
資産合計	**76,693**	**71,692**	**△ 6.5 %**
現金及び預貯金	13,392	9,922	△ 25.9 %
有価証券	42,631	39,420	△ 7.5 %
固定資産	10,077	10,777	6.9 %
その他資産	10,592	11,572	9.3 %
負債合計	**47,751**	**42,786**	**△ 10.4 %**
保険契約準備金	29,080	29,257	0.6 %
うち支払備金	4,116	4,443	7.9 %
うち責任準備金	24,964	24,814	△ 0.6 %
社債	5,000	5,000	― %
その他負債	13,670	8,528	△ 37.6 %
うち借入金	5,105	101	△ 98.0 %
純資産合計	**28,942**	**28,906**	**△ 0.1 %**
株主資本	30,700	32,014	4.3 %
評価・換算差額等	△ 1,608	△ 2,958	― %
その他	△ 149	△ 149	― %
負債・純資産合計	**76,693**	**71,692**	**△ 6.5 %**

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

2 重点施策の進捗状況

1. 重点施策の進捗状況（保険事業・資産運用・その他）
2. 重点施策の進捗状況（シナジー創出事業）
3. トピックス



1. 重点施策の進捗状況 保険事業・資産運用・その他

保険事業

新規・保有契約の状況

- 新規契約獲得件数は、四半期単位**6.1万件で高水準を維持**
- 26年9月末の保有契約件数は**143万件**を突破

商品・サービスの拡大

- 「どうぶつ健活」の取り組み等が寄与し、**継続率は88.5%**と安定して高いレベルで推移

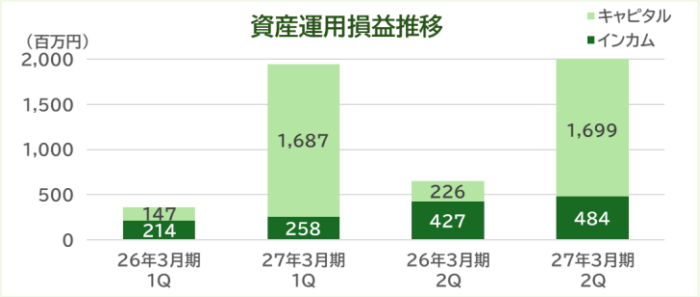
多様な販売チャネル

- 国内生保・損保とのホワイトレーベルの取組み（OEM）を拡大し、**8社と提携中**

資産運用

市場環境の変化を踏まえた効率的な資産運用

- インカム収益を着実に積み上げるとともに、市場環境を確認しながら、適宜株式の売却益も獲得
- 含み損を抱える資産の一部損切りを実施
- 今後も市場環境を見極めながら、キャピタル収益を適切に獲得するとともに、低利回り資産や含み損を抱える資産の入替えを進め、中長期的な運用収益の安定化と資本効率の向上を目指す



その他

「従業員一人一特許戦略」の推進　26年9月末 発明者数165名

【分野別 特許件数】※26年9月末時点

	画像認識 AI	遺伝子 フード・ 腸内細菌叢	再生医療	その他	合計
特許 件数	13	12	2	5	32

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

2. 重点施策の進捗状況 シナジー創出事業①

産まれる前から

川 上



ブリーディングサポートの強化

往診などの現場支援を強化し、
ブリーダーやペットショップの健全な生体管理をサポート

マッチングサービス事業の強化

『みんなのブリーダー』『みんなの子猫ブリーダー』
犬猫累計成約数48万件突破

みんなのブリーダー　みんなの子猫ブリーダー

マッチングサービス事業 26年度2Q業績

- 売上高　：1,130百万円(前年同期 1,158百万円)
- 経常利益：51百万円(前年同期 104百万円)

注)売上高は外部売上、経常利益はのれん償却後

引き続き、成約数は横這い傾向。今後も問い合わせ数増加へ向けたチャネル拡大や成約率向上に注力していく。

日々の暮らし

川 中



健診+口腔・腸内ケア商材の拡販

口腔・腸内ケア商品が拡大中
今後も新商品が発売予定



健康イノベーション事業 26年度2Q業績

- 売上高　：374百万円(前年同期 260百万円)
- 経常利益：△143百万円(前年同期 △148百万円)

注)売上高は外部売上

海外への販路拡大が奏功し、売上拡大が継続。販促費のコントロールによって前年度から赤字が縮小。

治らないを治す

川 下



動物医療関連
（予防～一般・高度医療）

『JARVISどうぶつ医療センター Tokyo』
高度獣医療で命に向き合い開院1周年へ



動物病院運営事業 26年度2Q業績

- 売上高　：1,554百万円(前年同期 1,221百万円)
- 経常利益：△551百万円(前年同期 △108百万円)

注)売上高は外部売上、経常利益はのれん償却後

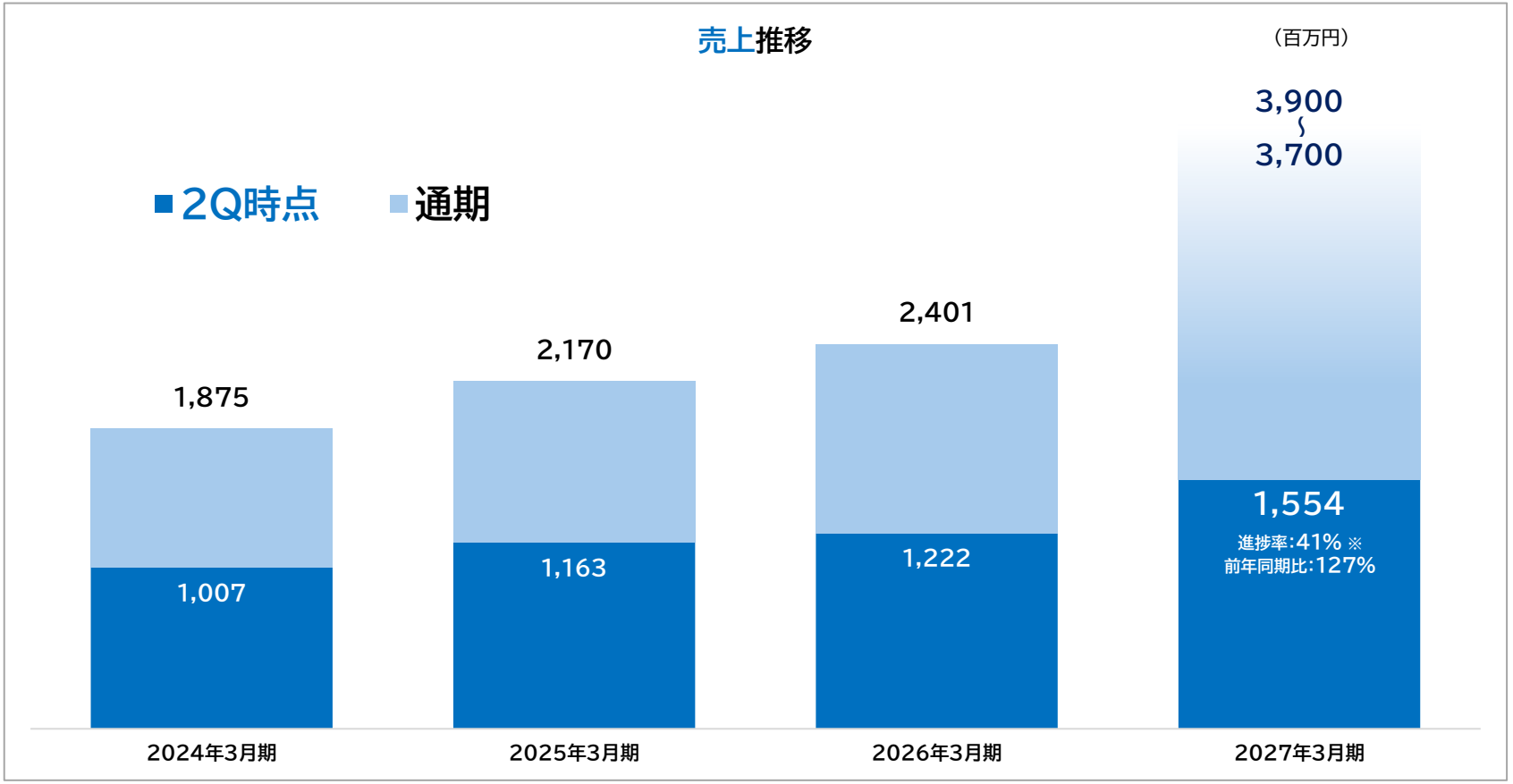
1Qと同様、JARVIS Tokyoにより売上が大幅に伸長。既存病院は事業縮小も検討しつつ、個別に収益性の検証を進める。

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

2. 重点施策の進捗状況 シナジー創出事業②

●動物病院運営事業主要KPI

「JARVIS どうぶつ医療センター Tokyo」が事業全体の売上成長を牽引し、上期売上は前年比127%と大きく伸長。下期もJARVISの成長を軸に、更なる売上拡大を見込む。



※ 通期の売上見込みを3,800百万円として算出

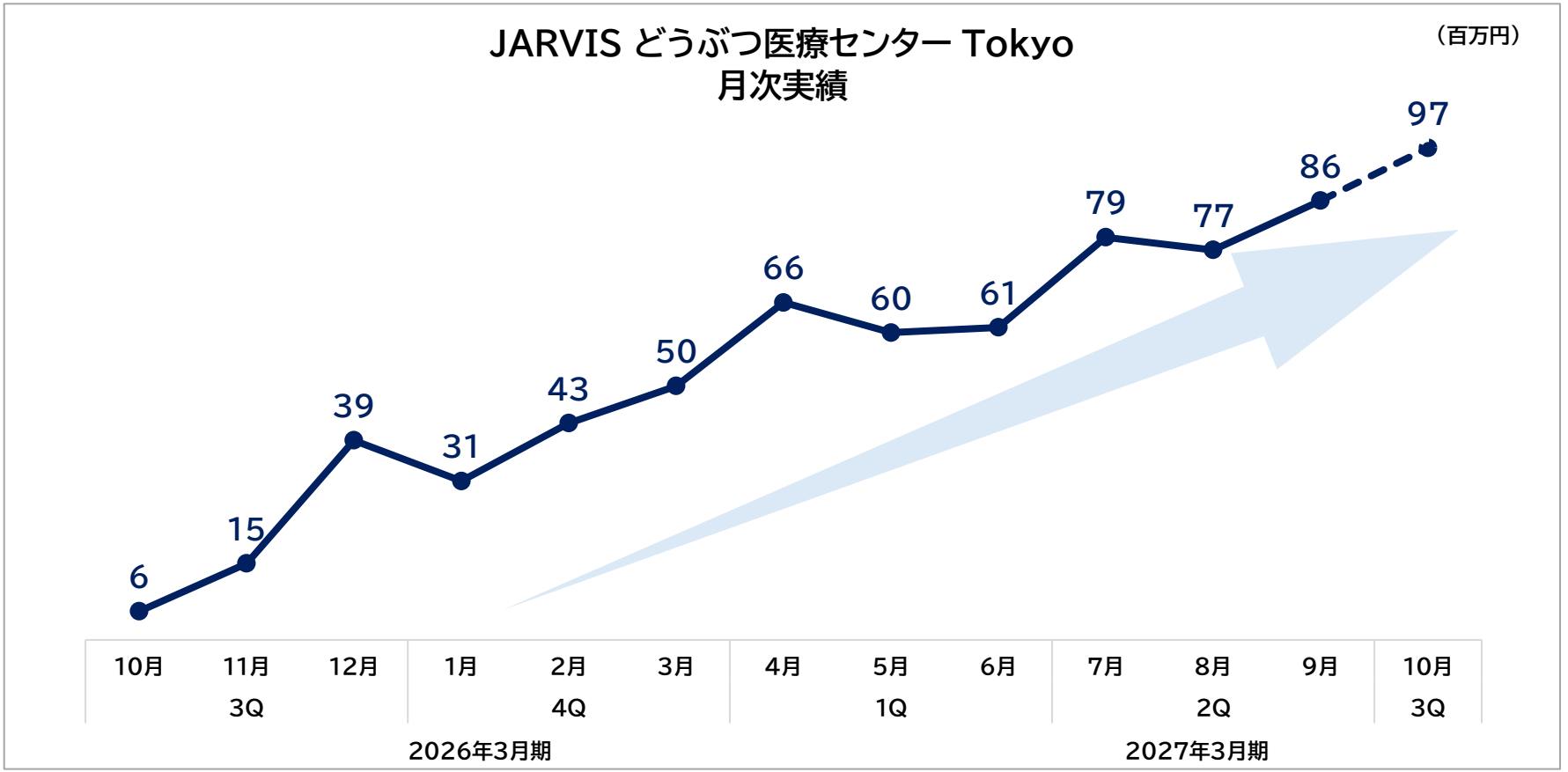
Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

2. 重点施策の進捗状況 シナジー創出事業③

●JARVIS どうぶつ医療センター Tokyo

開院以来、着実な成長基調を維持。開院から1年となる10月には月商1億円近い水準まで拡大。

※開院1年間の事業進捗については、2026年10月23日付ニュースリリースを参照
https://www.anicom.co.jp/news-release/2026/20261023/



※ 開院後の実績を踏まえ、事業の実態に即した計画への見直しを進めており、現時点では計画値の記載を控えております。

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

3. トピックス① 飼い主さまとの歩み

第十一回「どうぶつ川柳」を発表

2026年も、わが子の愛らしい瞬間や表情をおさめたお写真に、川柳を添えて応募いただく「どうぶつ川柳」を開催。
「優秀賞」や「佳作」のほか、今回は「もぐもぐ食いしんぼう賞」や「わくわくシェア賞」も発表しました。



7月28日付ニュースリリース
https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2026/20260728/

敬老の日にあわせて『ご長寿アルバム』を公開

2010年からつづく『ご長寿アルバム』を2026年も公開。当社のペット保険にご契約いただいているどうぶつを対象に、どうぶつ種ごとの最高齢を紹介しました。



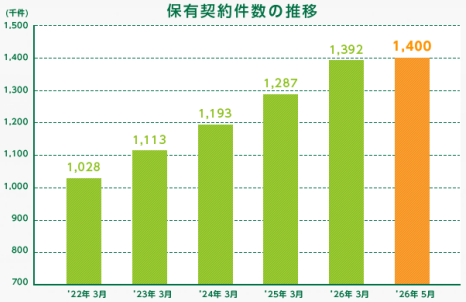
9月18日付ニュースリリース
https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2026/20260918/

ペット保険「どうぶつ健保」、保有契約件数140万件を突破



2000年の創業以来、保有契約件数は堅調に推移し、140万件を突破したことをお知らせしました。
当社は「病気やケガを未然に防ぐ」ことを目指す『予防型保険』を掲げ、各種サービスを提供しています。
こうした「どうぶつ健康保険証」をはじめとしたサービスの充実が、当社が選ばれている理由の1つです。

7月9日付ニュースリリース
https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2026/20260709/

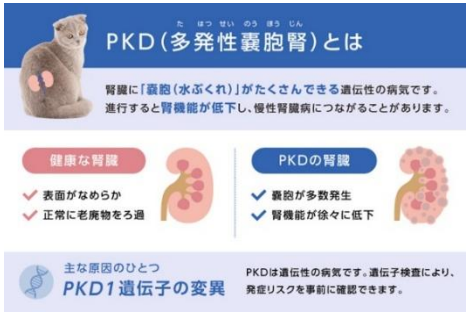


Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

3. トピックス② 調査・研究の成果

ネコの多発性嚢胞腎に関わる遺伝子変異、減少傾向を確認

子猫への遺伝子検査が普及する前後を比較した結果、一部の品種で*PKD1*遺伝子変異を持つ割合が減少していました。特にスコティッシュ・フォールド、ペルシャ、ラガマフィンでは有意な減少が確認され、遺伝的多様性に配慮した繁殖管理の可能性が示されました。



7月7日付ニュースリリース
https://www.anicom-pafe.com/tands/tands_20260707.html

ツシマヤマネコのゲノム解析調査の報告

対馬で確認された短尾のツシマヤマネコを全ゲノム解析した結果、近年のイエネコとの交雑を示す証拠は認められませんでした。ベンガルヤマネコ属で短尾個体を報告する初めての研究となりました。



9月1日付ニュースリリース
https://www.anicom-med.co.jp/news/20260901.html

腸内フローラ測定「どうぶつ健活」、累計検査数100万件を突破



「どうぶつ健活」はペット保険商品に年1回無料で付帯されています（※）。本サービスは、ペットの便に含まれる腸内細菌叢の構成や多様性等を測定し、当社が保有する保険金請求データ等との統計的な関連に基づいて、健康管理の参考となる情報を提供しています。 ※一部商品を除く
また蓄積されたデータを調査・研究し、その仕組みの解明を進めています。

7月24日付ニュースリリース
https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2026/20260724/



Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

3. トピックス③ 災害支援の取り組み

『令和8年熊本地震のペット救援募金』の実施

2026年7月28日に発生した令和8年熊本地震によって被災したどうぶつたちを支援するため、『令和8年熊本地震のペット救援募金』を実施しました。



8月6日付ニュースリリース
https://www.anicom.co.jp/news-release/2026/20260806/

『ネパール洪水のどうぶつ救援募金』の実施

2026年8月26日(日本時間)にネパール北部の中国国境付近で発生した洪水・土石流により被災したどうぶつたちを支援するため、『ネパール洪水のどうぶつ救援募金』を実施しました。



9月16日付ニュースリリース
https://www.anicom.co.jp/news-release/2026/20260916/

『ベネズエラ地震のどうぶつ救援募金』の実施



2026年6月25日(日本時間)に発生したベネズエラ地震によって被災したどうぶつたちを支援するため、『ベネズエラ地震のどうぶつ救援募金』を実施しました。
皆さまからお寄せいただいた寄付金は、2026年9月2日にIFAW(国際動物福祉基金)へ寄付しています。

7月10日付ニュースリリース
https://www.anicom.co.jp/news-release/2026/20260710/


ifaw anicom

Certificate of appreciation
Anicom Holdings, Inc.

In recognition of your dedication, successful fundraising campaign, and the generosity of staff and community members. We thank you for your donation of $23,568.27 USD, received on 2 September 2026, which will be used for our disaster relief efforts in Venezuela following the devastating earthquakes.

Azzedine Downes
President & CEO

Date issued: 3 September 2026

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

3. トピックス④ 「JARVIS Tokyo」の展開

夏休み子ども獣医師体験を開催

夏休み中の小学生を対象とした、獣医師体験を開催しました。
院内見学ツアー、手術支援ロボットの操作体験など、楽しみながら「どうぶつを助ける仕事」の魅力や、獣医療への理解を深められる機会を提供しました。

7月17日付ニュースリリース
https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2026/20260717/



「JARVIS Tokyo開院 1周年 写真展」開催

2026年10月1日に、JARVIS Tokyoは開院1周年を迎えました。これまで支えてくださった皆さまへの感謝を込めて、写真展を開催しています。
写真展は、普段はなかなか見ることのできない開院準備の裏側や、診察室の扉の向こうで診療に向き合うスタッフの姿などを通してJARVIS Tokyoが歩んできた1年間を感じていただける展示としました。

9月25日付ニュースリリース
https://jarvis.anicom-med.co.jp/news/2057/



Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

3. トピックス⑤ 資本政策・株主還元

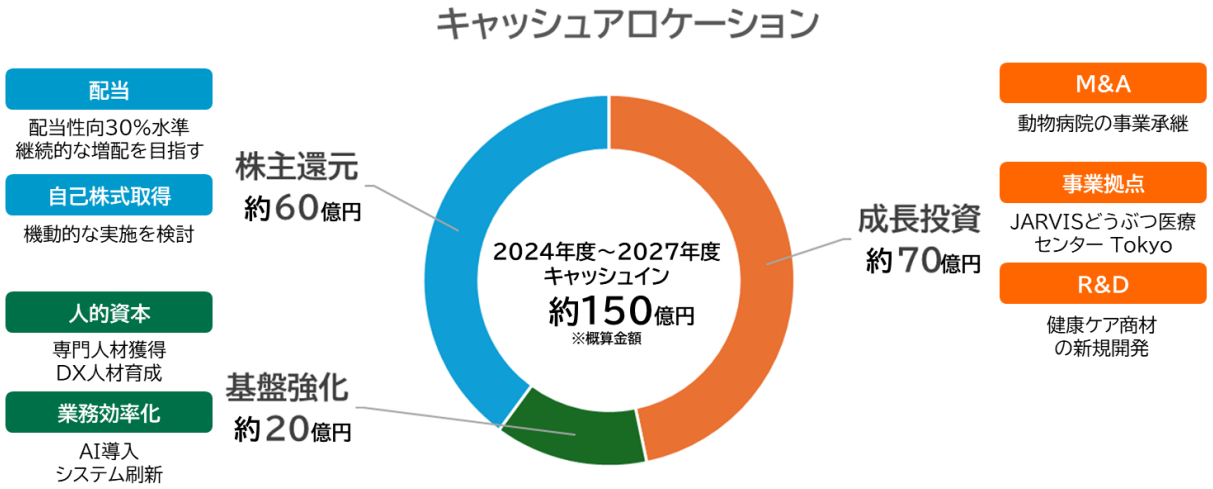
自己株式の取得状況

■概要

- 2026年5月12日、10億円を上限とする自己株式取得の実施を決定
- 2026年6月1日～2026年7月31日の期間で取得
- **2026年7月27日　約10億円の取得を終了済**

■中期経営計画　資本政策方針

ESR※を適正水準に保ちつつ、『成長投資』、『基盤強化』、『株主還元』の最適なバランスを目指す



※ 26年3月期末時点で217.7%であり、「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされる100%を上回っております。

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

3 APPENDIX

1. 主要経営パラメータ

2. アニコム損保単体：経常収益のパラメータ
（ペット保険新規契約獲得件数／保有契約件数の推移）

3. アニコム損保単体：経常費用のパラメータ
（損害率（E/I）、既経過保険料ベース事業費率）



1. 主要経営パラメータ

	26年3月期 2Q	26年3月期末	27年3月期 2Q	対前年同期比		対前期末比		27年3月期末（5月12日予想）
				件数	率	件数	率	
① 保有契約数	1,347,456 件	1,392,772 件	1,433,091 件	85,635 件	6.4 %	40,319 件	2.9 %	1,470,000 件
② 新規契約数	138,503 件 （内アクサ移管分 約17,000件含む）	266,231 件 （内アクサ移管分 約22,000件含む）	121,342 件	▲17,161 件	▲12.4 %	-	-	260,000 件
③ 継続率	88.4 %	88.5 %	88.5 %	-	-	-	-	88.6 %
④ 保険金支払件数	2,439 千件	4,872 千件	2,588 千件	149 千件	6.1 %	-	-	5,155 千件

	26年3月期 2Q	27年3月期 2Q	対前年同期比 増減	27年3月期末（5月12日予想）
⑤ E/I損害率	62.6 %	65.1 %	2.5 pt	63.4 %
⑥ 既経過保険料ベース事業費率	34.6 %	30.3 %	▲4.3 pt	31.6 %
⑦ コンバインド・レシオ（既経過保険料ベース）	97.2 %	95.4 %	▲1.8 pt	95.0 %

	26年3月期 2Q	27年3月期 2Q	対前年同期比 増減
⑧ どうぶつ健活（腸内細菌叢検査）申込数	126,643 件	124,232 件	▲1.9 %
⑨ 対応動物病院数	7,008 病院	7,068 病院	0.9 %

【参考】

	26年3月期末	27年3月期 2Q	対前期末比 増減
単体ソルベンシー・マージン比率	260.9 %	-	-
連結ソルベンシー・マージン比率	217.7 %	-	-

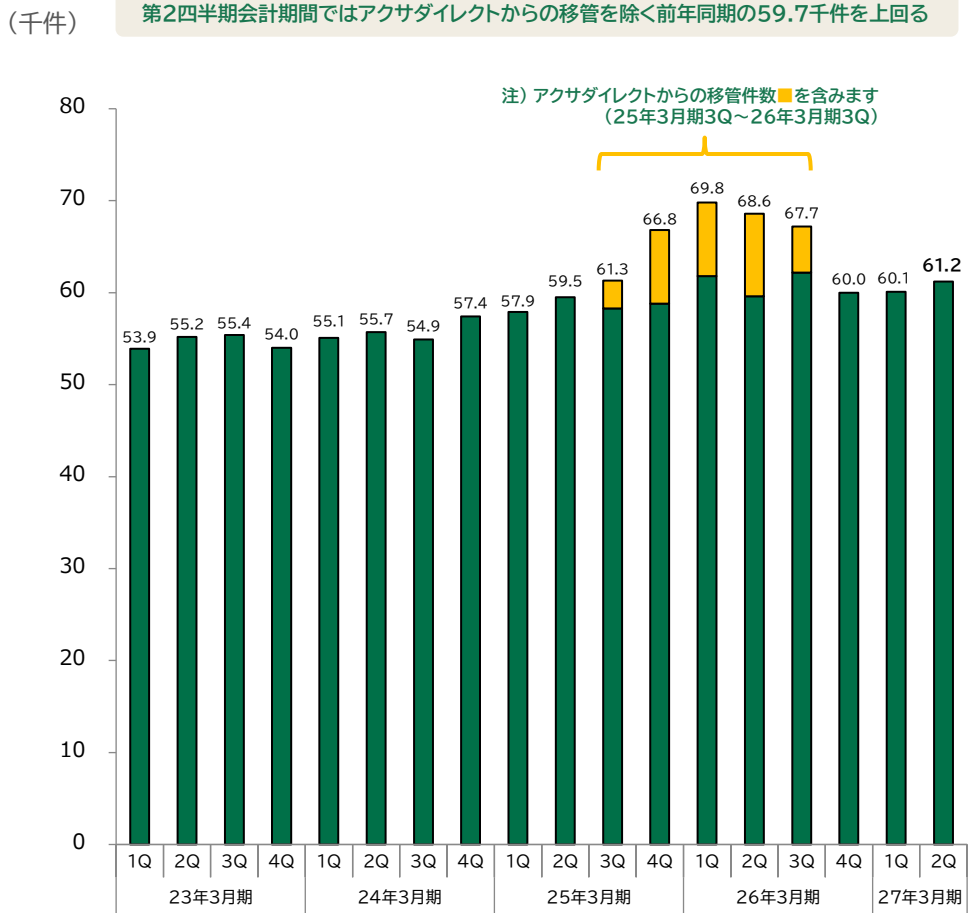
※ 新たな経済価値ベースのソルベンシー規制（ESR）への移行に伴い、26年3月期末の数値を参考として記載しております。

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

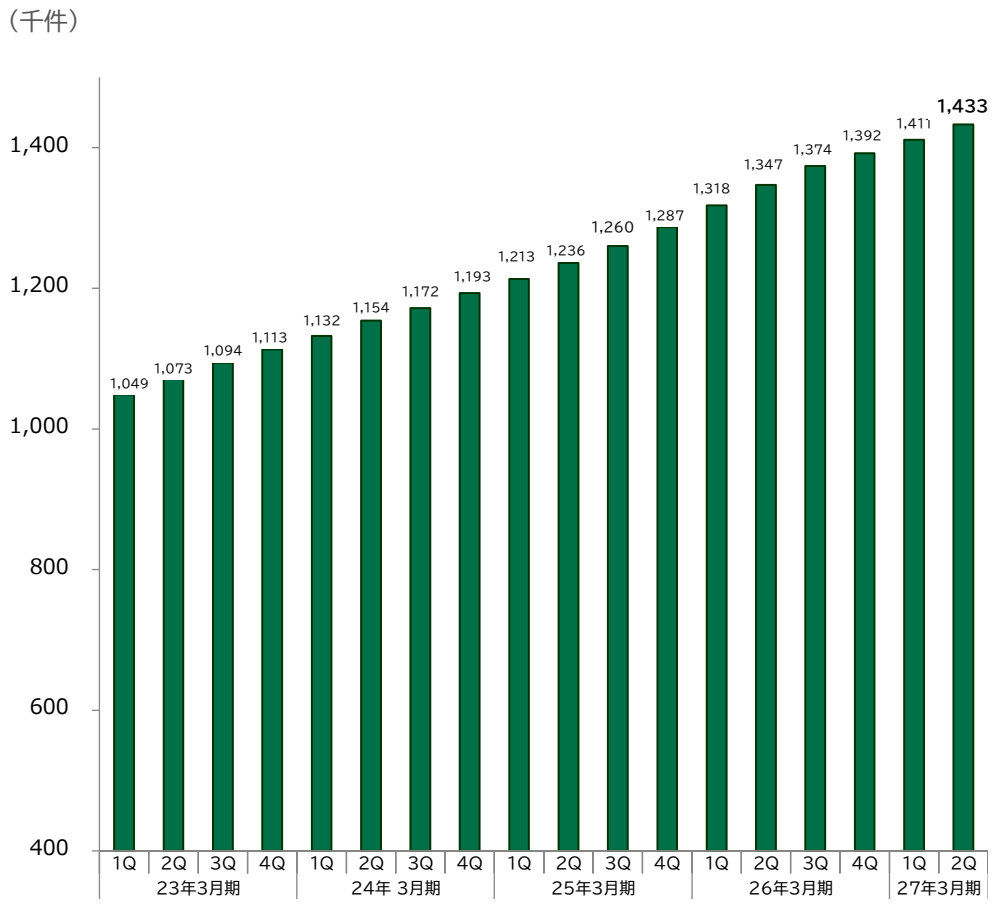
2. アニコム損保単体:経常収益のパラメータ

新規契約獲得件数の四半期推移

第2四半期会計期間ではアクサダイレクトからの移管を除く前年同期の59.7千件を上回る



保有契約件数の四半期推移



Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

3. アニコム損保単体:経常費用のパラメータ

【参考情報】

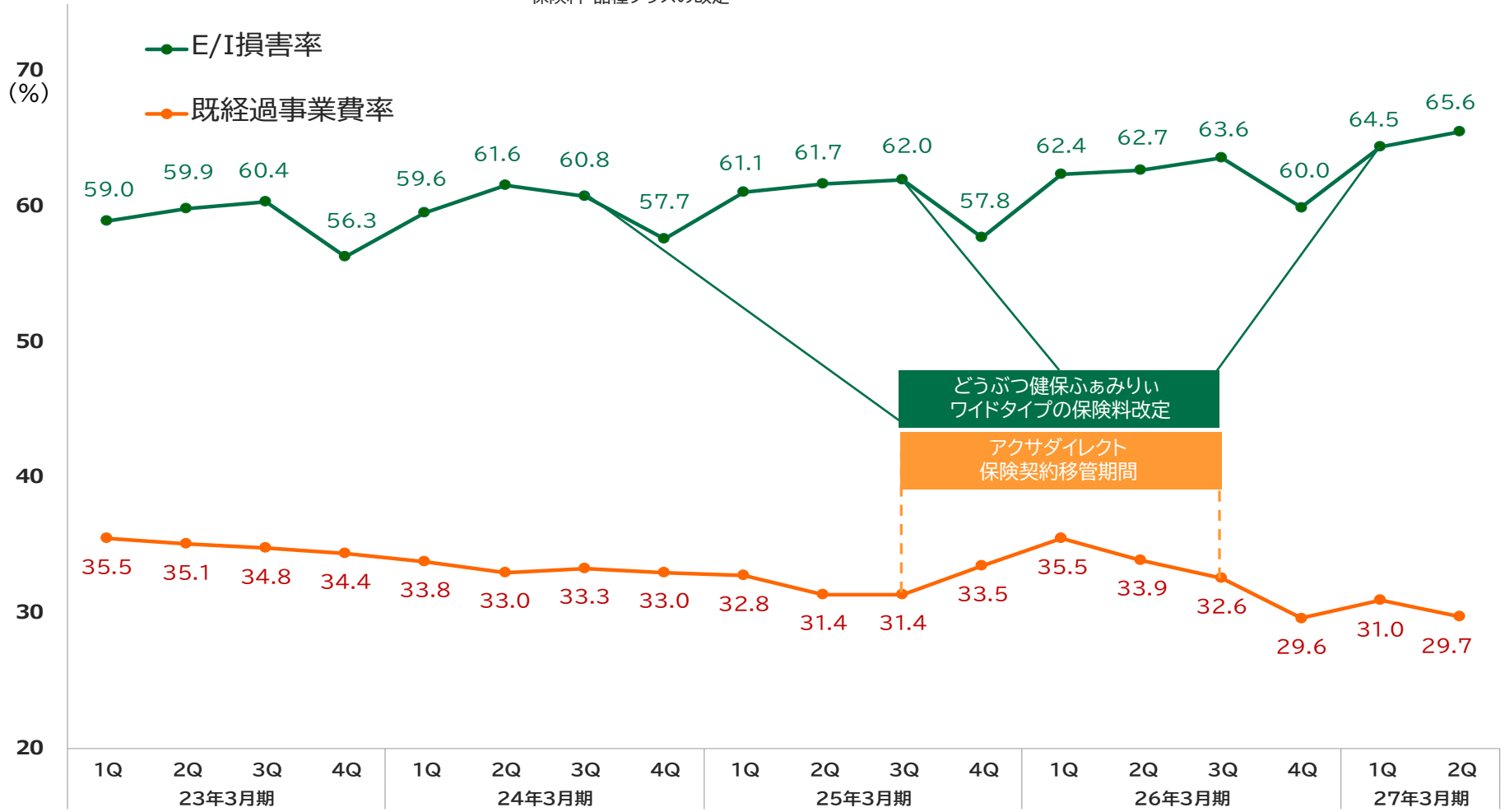
15年3月期 1Q
■ 保険料改定
・平均12%の改定

15年3月期 3Q
■限度日数付き新商品
■健康割増引制度導入

18年3月期 2Q
■保険料率改定
・8歳以上の保険料改定

19年3月期 3Q
■「どうぶつ健活」の導入
■保険料改定
・保険料・品種クラスの改定

注1）下図は、四半期毎の平均値を記載しておりますので、当期累計平均とは異なります。
注2）事業費率は「既経過保険料ベース事業費率」(損保事業費÷既経過保険料)を表しております。

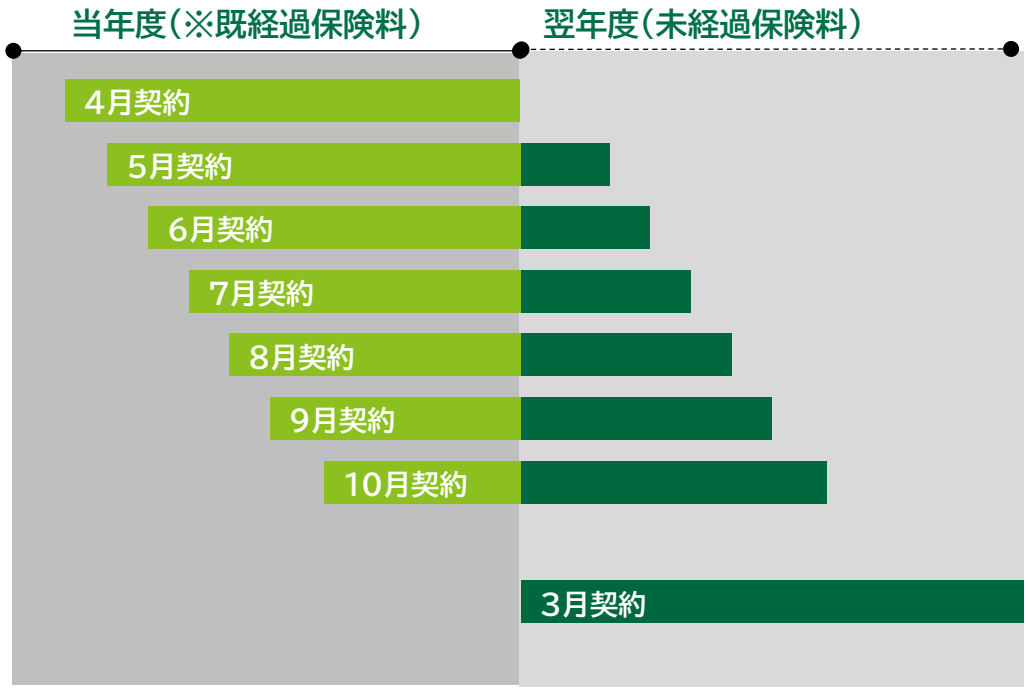


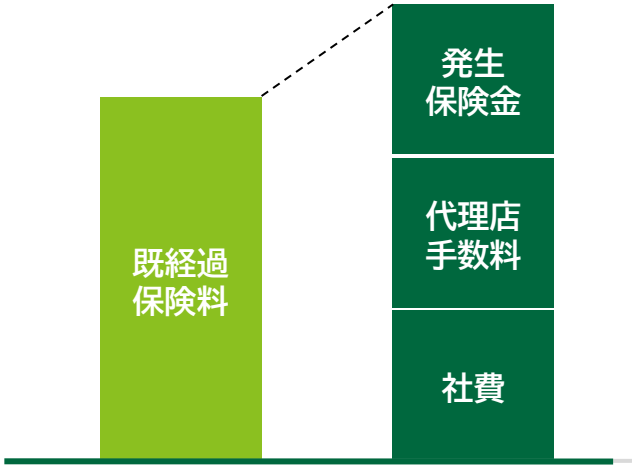
Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved

（参考）保険会計が経常損益に与える影響

1. 保険料の増加が経常損益に与える影響（日本の損保会計ベース）

一般的に、保険料の増加は経常収益の増加に寄与しますが、事業年度における保険料の未経過期間部分については、普通責任準備金（未経過保険料）として次年度に繰り越すことが法令により定められています。一方で、発生保険金、代理店手数料、社費等の費用については、保険料の増加に対応する費用を含め、これらの費用が発生する年度において計上することとされています。したがって、保険料の増加に伴い増収となる場合であっても、当該費用が既経過保険料を超過する場合は、当該年度の経常損益にマイナスの影響を与えることとなります。





2. 異常危険準備金が経常損益に与える影響（日本の損保会計ベース）

・異常危険準備金は、巨大災害等が生じた場合の保険金の支払いに備えるために法令により積み立てておくこととされているものであり、各保険会社が毎期積み立てを行っているものです。

・異常危険準備金は、正味損害率（※）が50%を超えると取崩し（費用のマイナス）が行われます。（※）正味支払保険金を正味収入保険料で除した割合です。

Copyright © Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved



お問合せ先

アニコム ホールディングス株式会社
経営企画部（IR事務局）

東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階

www.anicom.co.jp

本資料に関する注意事項

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載しておりますため、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。
これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。そのため、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。従いまして、将来予想に関する記述に依拠することのないようにご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。
なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではございません。